



~ 13
3108
4



門へ 13
3108
巻 4

落書亦借

望月



昭和九年
七月三日

復讐 奇談 稚枝鳩 卷之四

東都

曲亭馬琴著編



結清 上藤

第七編

鹽治廟小勇躬故を感
阿斜山小彈八懐心を

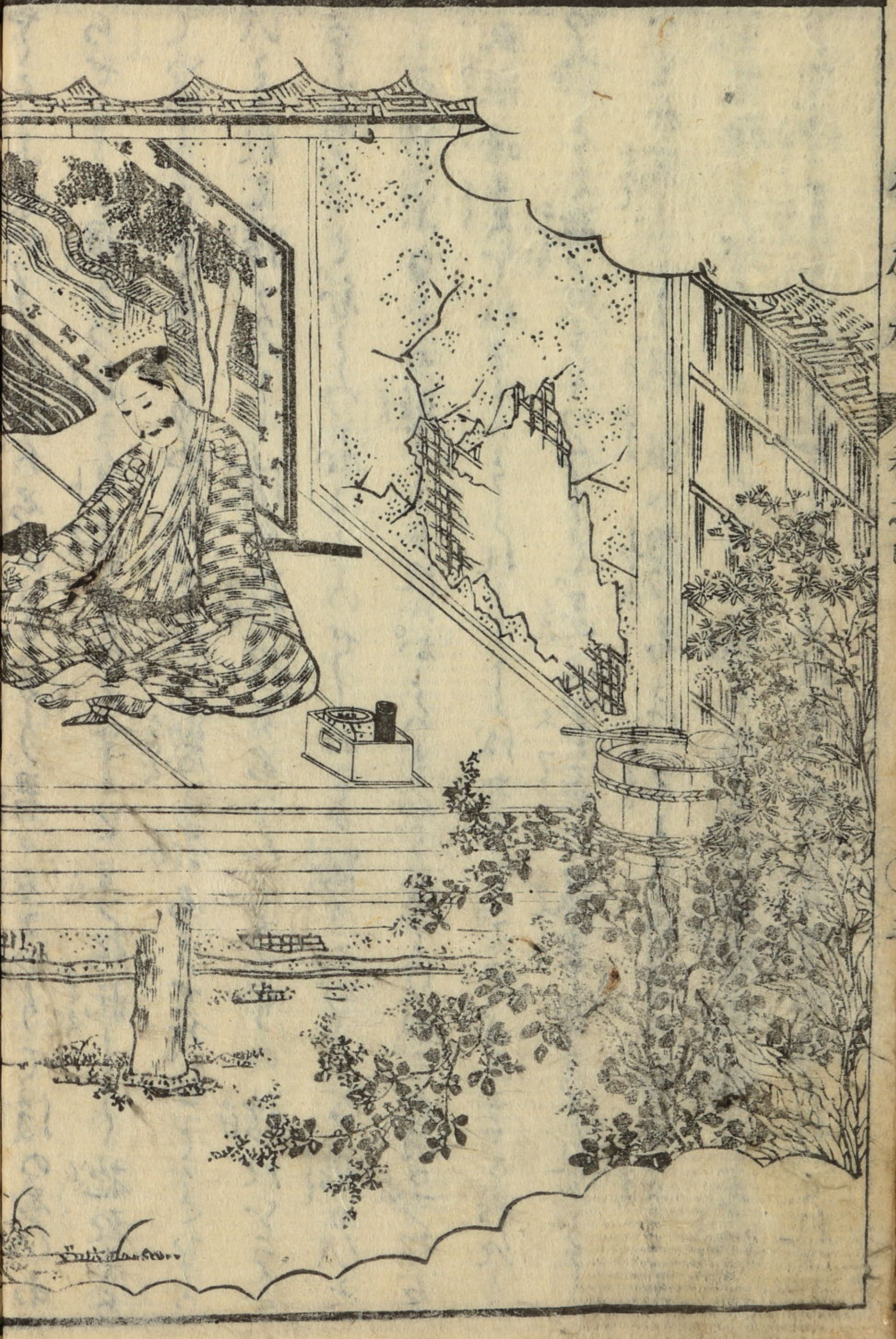
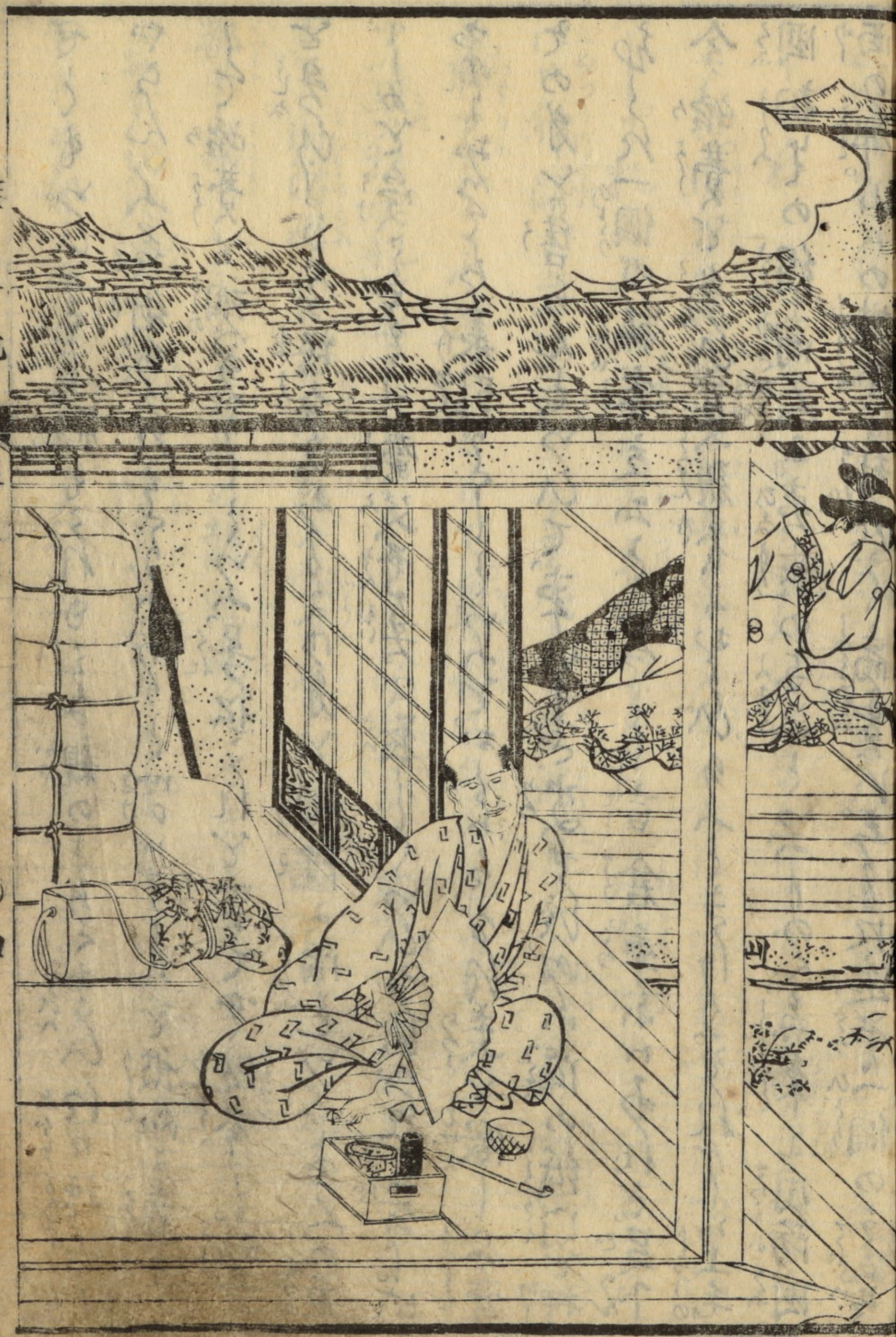


福六夫婦が愛死のり。先づらて海邊にちふその時のえあり
けとば。あまの映るがぬま羅りぬと怖害と。とちまら寺と
と。就に和尚縁由とまう勢たあひ。とまりら室をて敷く石
茶とあまら檢ゆふ。この石新よりら碎たる。仍あり。時
道玄今故るれ小逃奔せしこととるらぶらぐ。是まの
栗かあおるる。とつとらふこのるら海ま。昔世中下被奪の
勝と檢察し。それごとくがあまは違らりれとみて。即日部索

唯支邊

三十一回

一



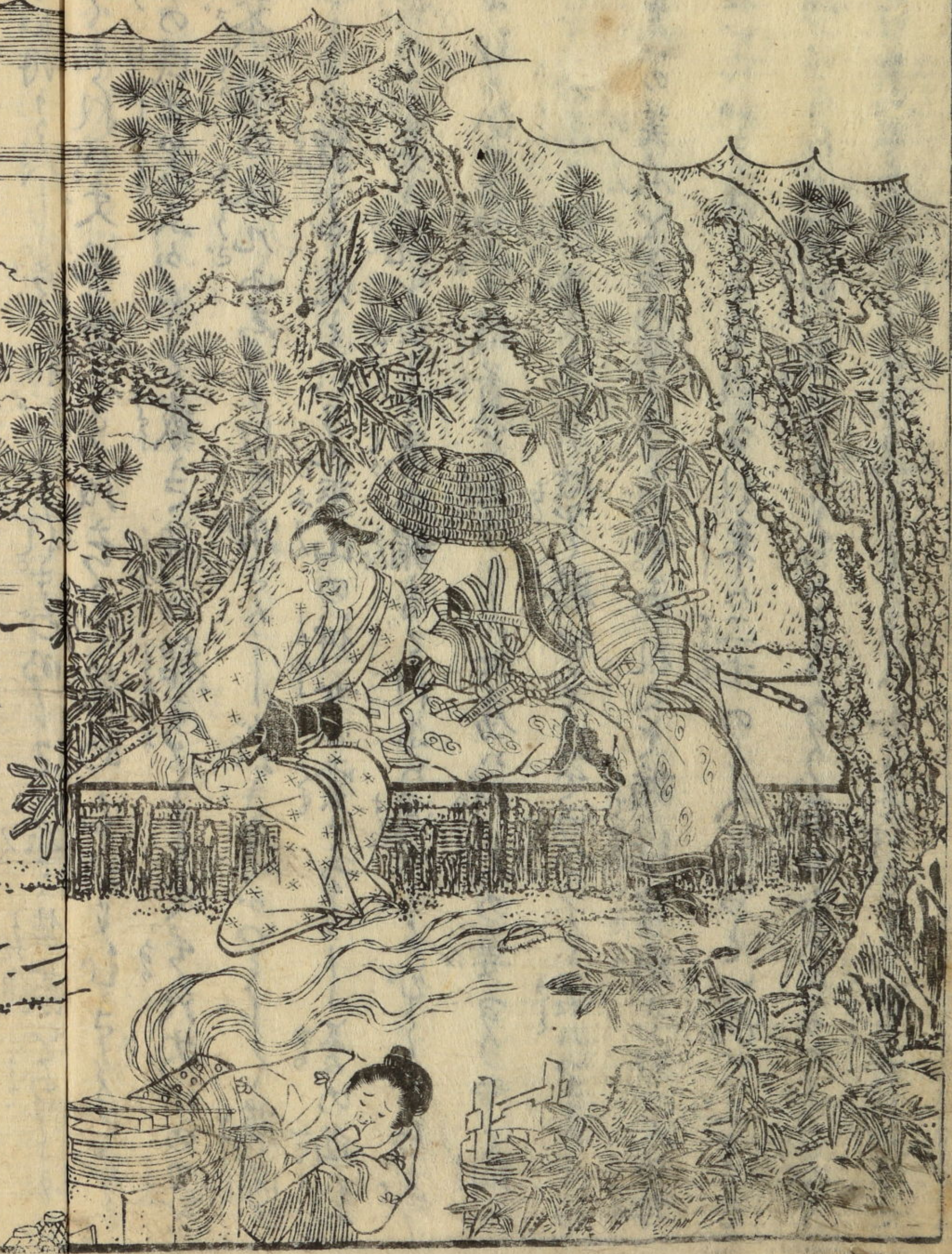
望まじく仇人と索ねべーと思念し。夫ぬらび高嶺にて。ち山口に後いゆんこと瓜をりれが。与三よりこびて号松夫物と伴ひ。防園をちりむらり。活雨頼り。今此の時おま園を。楯籠所を夫既病ありて。一子勇躬家督と兼つた。九作が長女息津と妻りて。朝山の属味。居候と。かき津いあふ。あふり。一より。既二十年の月日。経く。今く。武士の妻とあり。綿衣。お食。抱。道。を。く。園。隔。た。ま。あ。の。の。父。母。と。訪。ご。と。ま。あ。り。と。あ。い。と。万。里。の。曉。の。月。の。影。と。い。ども。書。と。三。春。の。暮。の。雁。と。託。一。ご。と。号。松。が。往。方。千。鳥。が。る。の。羽。が。る。ころ。あ。の。の。あ。の。の。九。作。が。横。死。は。あ。ふ。も。あ。り。只。願。神。仏。の。お。念。り。て。父。母。の。幸。福。と。携。り。代。り。あ。り。元。より。その。身。親。之。の。體。麗。る。の。と。あ。い。に。性。質。一。て。や。ね。ま。ま。と。結。り。幸。小。女。以。あり。く。う。ら。か。の。づ。づ。勇。氣。と。合。む。父。一。條。の。教。訓。と。ま。り。り。て。飯。も。婦。徳。を。過。ご。と。あ。り。か。く。て。今。茲。も。秋。く。れ。て。小。春。の。天。氣。和。暖。な。れ。ば。号。躬。あ。う。物。々。一。個。の。僮。僕。と。將。て。大。社。よ。系。訪。以。柝。出。を。四。神。門。郡。并。筑。村。小。立。せ。あ。ふ。并。筑。大。師。神。の。系。り。と。ま。り。大。己。貴。尊。の。て。宝。殿。の。高。三。十。二。丈。あり。世。ふ。お。ま。の。大。社。と。稱。さ。り。と。足。さ。り。毎。年。の。十。月。八。日。神。に。あ。ふ。つ。て。ひ。て。婚。嫁。嫁。娶。の。の。と。定。め。あ。ふ。と。い。ひ。傳。へ。た。た。この。月。に。て。遠。近。の。良。賤。群。集。に。この。日。勇。躬。夫。婦。の。大。社。の。神。事。と。か。か。ま。て。吉。野。川。鹽。冶。の。里。と。控。見。に。これ。康。永。の。あ。う。高。嶺。を。は。袂。毀。せ。し。ま。り。活。活。判。者。を。負。の。墳。墓。あり。け。り。勇。躬。これ。小。湯。に。て。忽。ち。懷。古。の。情。あり。と。ま。り。ち。か。き。津。よ。か。り。て。い。ろ。く。高。嶺。ハ。當。家。の。先。君。あり。廷。尉。降。重。が。あ。り。横。死。し。あ。い。活。活。の。家。一。旦。滅。亡。の。時。勇。躬。の。報。恩。お。い。

佳支鳥

卷之四

五

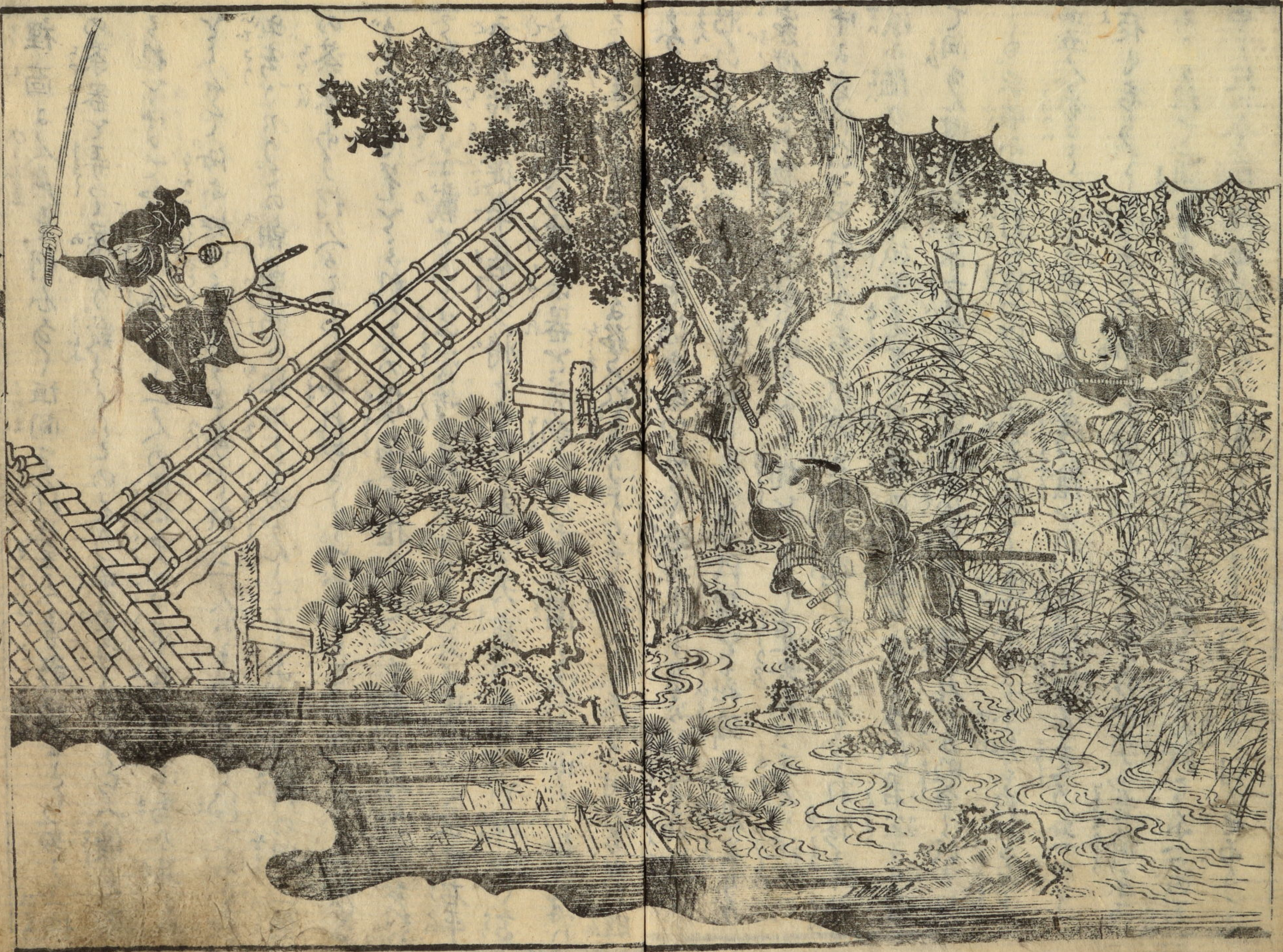
延尉鹽冶侯之墓



指も凡も強さば切落し。血殺し流まされば。さき付致りて衣服
 の血と拭ひ傷は膏茶を附け裂き。して包られど。痛むなほ。と
 して。勇形に甲夜より妙ぬ。この勇形が隣宅の馬川渡之助とて。尼
 子の七馬士。池一の勇士。うそす。なら。物山の守将なり。より。そ。ま。あ
 る。と。ろ。れ。緒。士。ハ。渡。之。助。ガ。支。死。と。う。け。く。そ。の。中。知。小。あ。と。ふ。ん。は。と。う。や。し
 ろ。この馬川が家小深緑。と。う。茶。盒。あり。これ。い。を。考。う。る。お。成。久。よ
 り。所。錫。の。器。され。い。を。取。及。と。う。ろ。り。甚。一。あ。り。ふ。は。夜。馬。川。ガ。隣。宅。了
 置。城。志。の。び。入。く。彼。你。縁。と。奈。来。り。走。り。去。ら。ん。と。さ。り。附。渡。之。助。登
 き。足。枕。又。立。う。ろ。刀。と。引。提。迹。と。と。追。う。ろ。彼。城。茶。箱。と。考。う。り。わ。り。て。庭
 ま。い。う。ろ。う。う。が。既。ふ。迹。と。う。ろ。り。や。さ。ひ。ひ。ん。引。入。り。て。切。む。と。ふ。と。う。人。も。勇
 猛。五。奴。の。泣。之。助。い。を。致。と。う。り。と。瓜。得。べ。ぬ。忽。ち。左。の。指。と。切。り。と。れ

より。下。と。迹。を。考。う。を。渡。之。助。つ。い。く。追。ん。と。う。ろ。り。が。怪。く。曲。演。り
 精。ひ。墮。土。城。ハ。立。う。ろ。と。これ。と。斬。ら。ん。も。せ。に。埒。と。飛。踰。く。迹。去。り。り
 家。僕。亦。この。物。音。お。打。登。り。た。も。み。く。榻。と。う。り。て。走。出。れ。ば。主。人。ハ。池。水。乃
 中。よ。立。城。ハ。い。づ。ち。行。ら。ん。と。考。う。に。渡。之。助。送。送。し。て。う。ろ。く。それ。怪。く。曲
 演。小。陥。り。や。う。ろ。ふ。城。と。走。を。て。恩。揚。の。茶。盒。と。う。ろ。り。い。ひ。君。公。と。さ。様
 て。同。め。ん。時。言。な。り。い。言。な。り。彼。賊。面。面。雲。と。傳。れ。ば。分。明。あ。ら。ん。と。い
 へ。も。衣服。亦。三。引。の。紋。つ。け。り。遠。く。い。ゆ。り。追。蒐。し。て。下。知。され。ば。家。史
 四。五。人。考。う。ら。い。い。も。あ。ん。だ。刀。と。跨。鎗。と。引。提。後。門。より。考。う。出。り。既。り
 夜。も。考。う。く。と。考。う。ろ。家。小。示。む。さ。く。と。考。う。つ。く。吾。儕。茶。西
 小。考。う。れ。て。道。一。里。あ。り。遠。ね。と。も。賊。の。影。さ。ん。ん。に。こ。ふ。一。口。の。あ
 や。し。た。ハ。今。摘。獲。勇。形。と。の。門。前。と。遇。う。し。小。門。の。戸。は。引。よ。せ。あ。り。て

維
岐
鶴
卷
之
四



和
村
九
卷
之
四

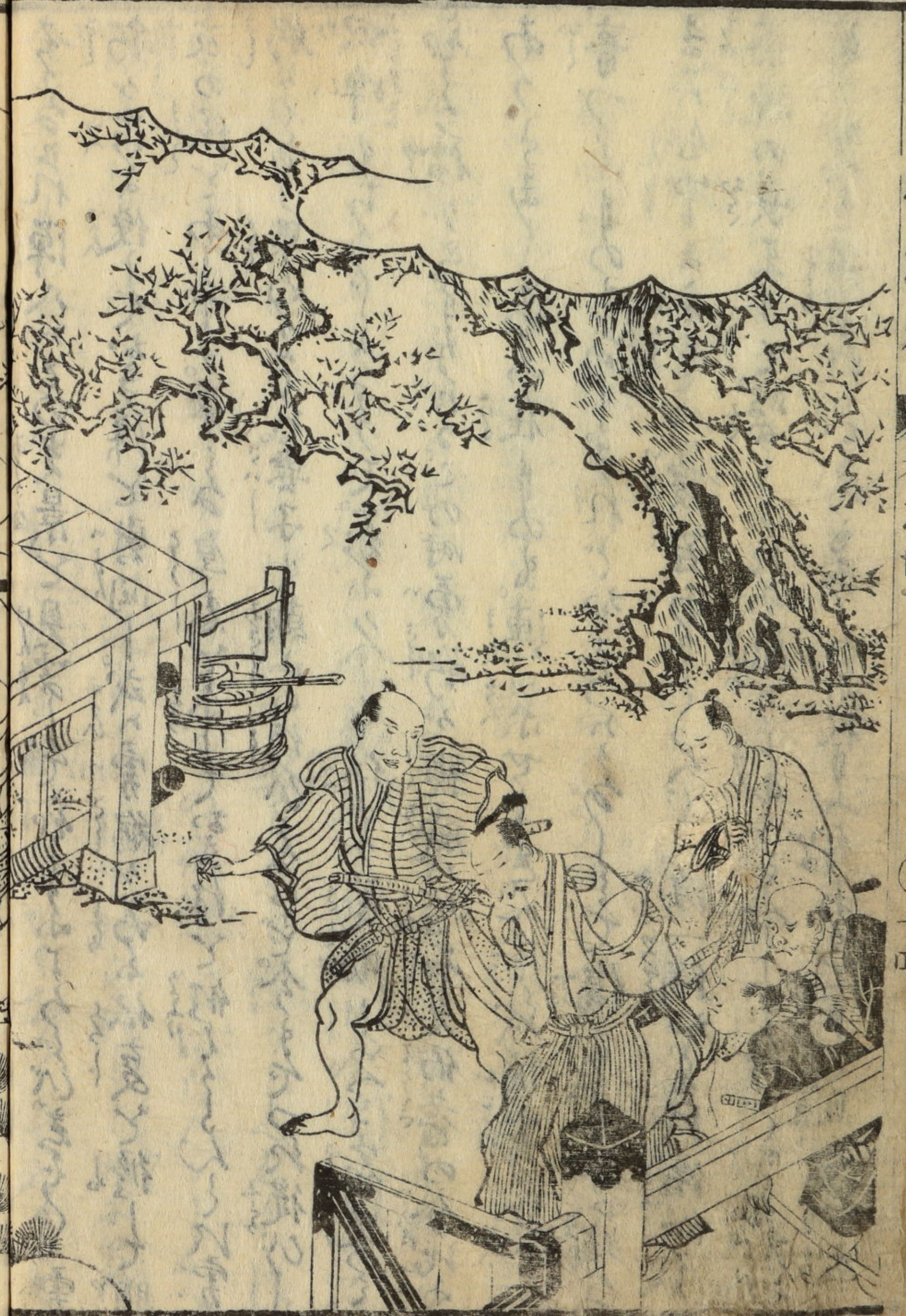
裡面より人声も何心あり垣間見れば主人勇躬様より出づ。一個
の茶番を弄り居り疑ひしこの人乃ち西あるらん。と云渡之助
これを見てや沈吟し。二人の家史右平吾左治馬が耳より
とりやて汝亦如此とせよと命ぞれば二人ハその意を悟てふとび
出たり。この朝勇躬の起しと救ぐんとす。水舟の辺は一個
の茶番あり。何人かうわん忘れぬ。つづきさうみりし。あひま
が。さうして是と云れ。その摸振吉雅として。い。巻と云。器あれ。
これと云。載せし。品管嘆美。一。る。と。る。人馬門が家史右平
吾左治馬従平居多将と走り来り。矢庭小勇躬と押へく言
ふ。小。子。傳。め。彼茶番と云。副て左右と圍て追ひゆく。おさげの
この巻系と云て。ち。移。ら。れ。来。り。よ。り。て。柱。と。志。る。時。勇。躬。ハ。腕
は。門。外。に。あ。り。か。く。て。二。人。の。家。史。ハ。勇。躬。と。搦。来。て。庭。上。に。引。を
え。り。れ。ば。渡。之。助。立。出。て。これ。と。云。ふ。衣。服。に。之。引。の。紋。つ。け。て。左。乃
食。指。新。に。切。ら。れ。し。と。云。ふ。て。裂。れ。し。と。畏。れ。し。れ。ば。勅。せ。し。
て。つ。づ。く。汝。何。の。為。に。家。の。茶。盒。ハ。偷。り。し。と。勇。躬。ハ。そ。れ。が
一。膏。偷。り。あ。ら。ば。何。ん。か。水。舟。の。し。小。控。お。れ。し。と。只。今。又。お。し。
い。ぶ。り。し。く。あ。ひ。わ。れ。し。と。云。ふ。と。辨。り。し。と。あ。し。志。る。と。く。縲。紐。の。中
繫。れ。て。ぬ。き。衣。と。被。せ。し。り。の。為。に。不。幸。な。り。然。し。明。は。家。史。知。と
ま。へ。し。つ。ふ。そ。の。云。ふ。と。流。し。す。渡。之。助。奮。然。と。し。つ。づ。く。汝。の。茶。い
と。と。偷。去。る。時。に。れ。し。切。ら。せ。し。指。の。血。に。ま。ご。う。た。げ。る。か。あ。は。ら。う。が。ひ
逃。れ。ん。と。す。り。や。盗。人。と。け。げ。し。し。足。を。り。渠。鞭。ご。ん。い。く。せ。し。の。實。と。吐
む。し。つ。ま。り。て。左。右。に。命。し。勇。躬。は。祖。せ。て。百。杖。あ。り。を。打。せ。り。お



維
支
邊

卷
之
九

十
五



利
才
九

卷
之
九

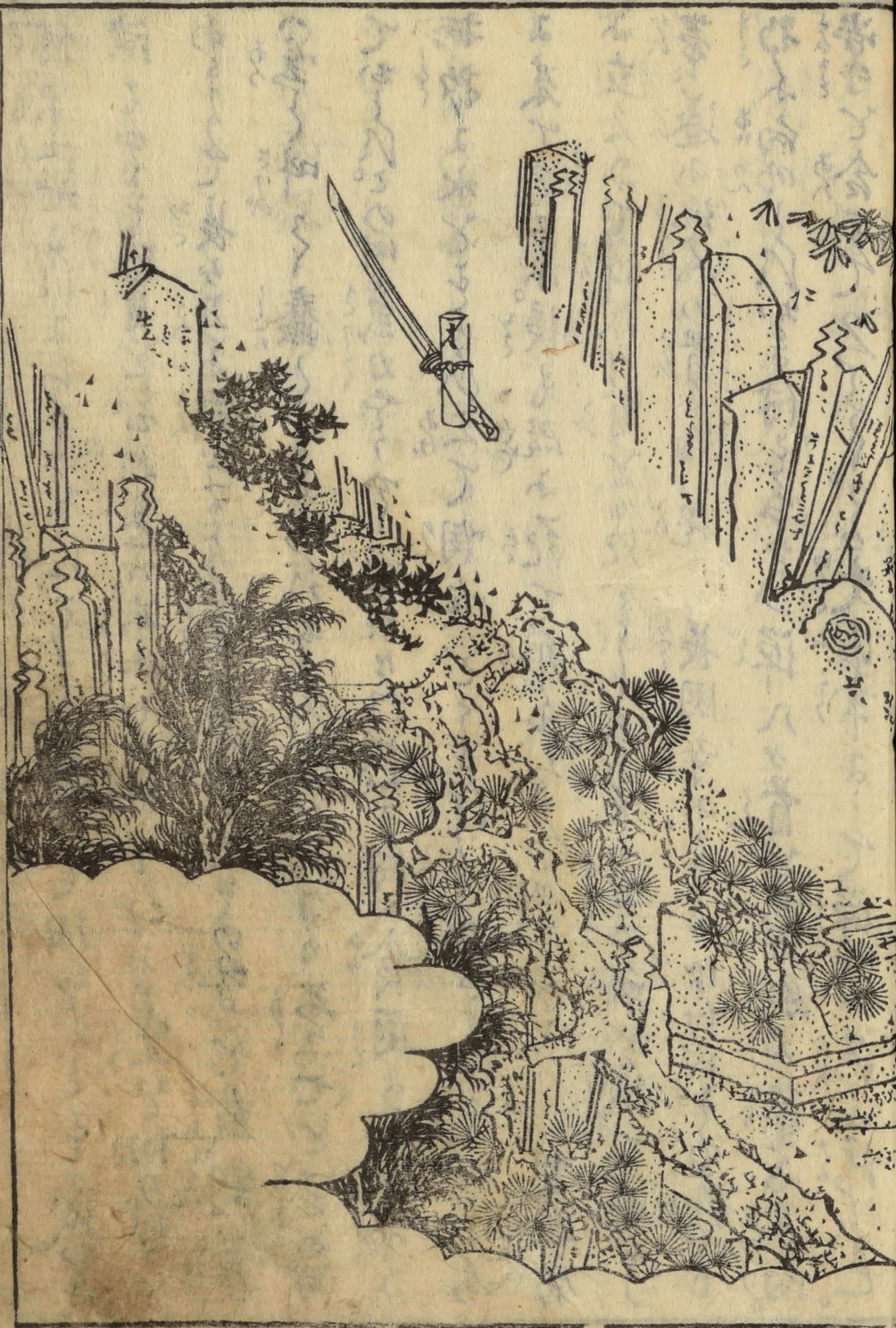
十
五



和
林
光
卷
之
四

迹れどぐらんとえられた。二更のころふ及くまがう小外房より入りぬ。この
 時彈八は丈又酪町へ。隙と誇くして屏風の裡にあり。只管筋結
 と吐く枕蓆ととも。春情漫初してまがう木葉をさあさだ。や
 我まううんとすり。おき津忽ちその胸元を奪り。その後刀を抜
 出さうううう。後計と用て。勇筋のめを殺しぬ。ううう
 ううう。今に迎るふ及む。おとたの刃うけをうひて。槍尾の
 あらうと一刀刺を。彈八え来。鼻旁の割筋をれを。うれや郎未
 と叫と起あがらんと。おき津はう不鞞も徹むくと。打をさふ。
 彈八遂に息絶り。家吏如平軍三。いまご。將もやうを。あり
 けき。二人。やうう。走り来り。この光景とつんと。大おがらぬ。
 主人の仇。道と下と。をせうれと。おき津枕。迎あうりる。まき。綱の

薰爐と。うう。て。投つくれ。おき津。軍三。眼鼻の間より。あて
 られ。瞑眩たう。撲地し。まう。如平。い。不これ。少も。おそれ。跳踰く
 飛う。おき津。屏風と。倒し。け。紙と。隔く。う。と。刺。如平
 忽ち。暗と。刺通され。象棋。う。う。作る。時。軍三。やう。やく。魁。ゆ。う。
 起あがらんと。まう。と。おき津。又。その。首。は。う。ら。か。う。け。う。て
 後。おき津。う。小。竈。厦。の。う。う。と。ら。か。つ。ん。と。茶。換。の。長。う。醉。う。と。
 つ。え。て。金。衣。あ。う。う。う。階。あ。う。う。足。も。仇。人。の。支。堂。あ。う。う。や。う。迎。は。じ
 と。走。り。う。う。を。長。が。傍。お。外。ら。鞋。奴。木。七。が。い。と。ね。記。て。壁。よ
 拭。う。茶。刀。を。ゆ。め。う。赤。裸。よ。う。う。ひ。あ。う。う。おき津。信。と。て。て。
 奇。く。怪。我。せ。と。と。あ。う。う。これ。と。逆。戦。ん。と。う。長。が。枕。と。結
 う。せ。が。長。髪。え。て。大。お。か。う。う。き。狼。狽。して。おき津。が。裙。お。志。う。



が... 臨く。吼丸... 定めてゆへ
あふべし。とても... びまが過るた
と辨へその汚名と... 思
念して。遂に長国寺と走り出。物々び朝山の属城と臨く
をせ行り。鳴乎賢... 奮勇して大義を伸
その劉賜男子... 千歳の美談
なり。上藤



復讐言奇談稚枝鳩卷之四畢

飛鳥 守心



色紙

十二文

三四の文

...

